

平成 2 6 年 度 決 算 に 係 る  
定 期 監 査 調 書

平成 2 7 年 6 月

倉吉総合看護専門学校

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	6 頁
11	不納欠損額調べ	6 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	6 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	7 頁
14	財産に関する調べ	7 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	8 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	8 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	8 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	9 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	9 頁
20	備品の処分状況調べ	9 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	9 頁
22	当該年度における業務の概要	10 頁
23	学生の入退学等移動状況調べ	14 頁
24	学校卒業者の就職等状況調べ	15 頁
25	教育計画とその実績	15 頁
26	主な施設の整備状況調べ	15 頁
27	意見、要望	16 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

局（所）名	課名	係（班）名	課の主な所掌事務
倉吉総合看護専門学校			看護師・助産師として必要な知識及び技能を習得させるための事務

4 職員の定員、現員調べ

(平成27年 4月 1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	
	定員	2	2	20	20	0	0	22	22	
	現員	2	2	(1) 21	20	0	0	23	22	H27.3.2～産休
	過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非常勤職員	1	0	25	24	0	0	26	24	外部講師23 助産学科講師1、舎監1

5 役付職員の調べ

(平成27年 6月 1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
校長	(兼) 井藤 久雄	2	2	本務 厚生病院長
副校長	中田 映子	0	2	
教務課長兼教務主幹	初田 玲子	0	2	3年2月
次長	(兼) 谷本 真二	5	2	出納員 中部療育園次長兼務
教務主幹	西川 淳子	0	2	13年2月
教務主幹	古磯 祥子	2	2	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要	要
<p>倉吉総合看護専門学校費</p> <p>決算額 36,293千円</p> <p>(財源内訳) 使用料及び手数料 18,643千円</p> <p>一般財源 17,632千円</p> <p>その他 18千円</p> <p>○政策項目 学生の確保</p>	<p>1 学校のPR・学生の確保</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 看護職員不足が深刻化する中、一人でも多くの看護職員を養成するため、県民に学校の存在や魅力をPRすると共に優秀な入学志願者の募集に力を入れ、入学定員の確実な確保を図る。</p> <p>(イ)事業の実施状況 ○オープンキャンパスを開催した。2回 参加者数128名 ○本校PRのため県内高等学校・看護学校等の訪問を実施した。施設数 22施設 ○高等学校等で実施の進学相談会に参加しPRを行った。6回 参加者数 65名 ○社会人入学制度のPRのため、関係団体や医療機関への訪問・通知を実施した。 医師会報への掲載 病院・産科婦人科を標榜する医療機関への通知 70施設 ○小学生・保護者を対象に命の教育を実施した。4回 参加者 344名</p> <p>イ 平成26年度の業務の実施にあたり改善等に取り組んだ点 ○看護学科・助産学科の優秀な学生を確保するために高等学校、看護師等養成機関に出向き積極的に教育実績をPRした。 ○第1看護学科の定員確保のために、依頼のあった高等学校の進路説明会への参加やPTA研修(希望のあった高校の父兄を対象とした学校説明会)及び病院主催の高校生看護師体験事業への協力を行った。 ○第2看護学科に進学を希望する学生を対象とした進学説明会を開催した。</p> <p>ウ 成果 ○助産学科の志願者数は減少(55名→39名)した。また、第1看護学科の志願者数も減少(108名→81名)した。 第2看護学科の志願者数は増加(35名→53名)した。 ○第1看護学科の推薦入試を希望する者は減少傾向(19名→14名)にある。 ○3学科とも定員は確保できた。なお、第1看護学科では、入学辞退者を見越して一般入学試験の合格者を増やした。 ○PTA研修の受け入れは、「説明や見学は子どもの進路を考える上で参考になった」と好評であった。また、第2看護学科に進学を希望する者を対象とした説明会は「先輩から話を聞き進学への意欲が高まった」と進学への意欲に結びつき、志願者の増加となった。</p> <p>エ 課題 ○鳥取県の高校生は減少傾向にある。また、中部地区の学生数は東部・西部地区に比較し少ない。今後も少人数制で手厚い指導が実施できる当校のメリットや国家試験合格状況、就業・進学状況の実績を様々な機会を捉えてPRしていく必要がある。 ○第1看護学科の定員確保と優秀な学生を確保するために、入試方法を検討する必要がある。</p>	
<p>○政策項目 教育の質の向上</p>	<p>2 教育内容の効果的実践</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的 看護学科 ○看護実践力の向上に重点を置いた「客観的臨床能力試験」「医療安全教育」「統合実習」を実施し、教育内容の充実・強化を図る。 ○多岐にわたる実習施設の指導者と連携を図り、学習支援を充実する。 助産学科 ○正常分娩の介助、異常妊産婦・新生児救急に対応するための演習を強化する。 ○現場密着型の講義による地域母子保健学習の充実を図る。</p>	

事業名	概	要
	<p>(イ)事業の実施状況</p> <p>看護学科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○客観的臨床能力試験（OSCE）の実施 患者の安全と気遣いをしながら日常生活援助や診療補助技術が提供できるよう、先駆的なOSCEⅠ、OSCEⅡ（平成22年度開始）を計画し実施した。</li> <li>○医療安全学習の実施 安全な看護を提供できる判断力や実践力を養うために、地域住民に模擬患者を依頼し、多重課題・業務中断の条件下での演習を計画し実施した。</li> <li>○統合実習の実施 卒後スムーズに臨床現場に適応するために、学生チームで複数の患者を受持ち、優先度の決定、時間管理が修得できるように、「統合実習」を行った。</li> </ul> <p>助産学科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域母子保健学習の強化と演習の充実 助産実習にあたり、施設の実習指導者が参加する分娩介助演習を行った。また、分娩介助の技術チェックを行い、学生ごとの到達度を把握した。異常妊産婦への対応、新生児の救急に対応できるよう演習を組み入れた。地域で暮らす母子の支援に必要な資源や効果的な指導が展開できるよう現場密着型授業を展開した。</li> </ul> <p>共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的な実習指導者会議の開催 計画的に実習指導者会議を開催し、実習が円滑にできるよう調整を図った。また、実習の成果と課題を共有し、次年度に向けた指導方法を確認した。</li> </ul> <p>イ 平成26年度の実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○OSCEはその場の判断に基づいて、状況に応じた援助が実施できているか評価できるよう試験方法を改善した。また、学生の到達度の状況がわかるようOSCEⅡの評価項目を改善し実施した。医療安全演習は、臨床で用いている物品を活用し、より実践に即した状況を想定し演習を行った。統合実習は意図的に看護を実践するための方法を取り入れ実施した。</li> <li>○老年看護学実習施設（介護老人保健施設）や小児看護学実習施設（保育所）にH27年度新規実習施設として依頼を行った。</li> <li>○助産学科は外部講師の授業を公開とした。また、分娩介助演習や母子保健の授業に指導者が参加する現場密着型授業を行った。また、新生児の救急に対応できるよう「新生児蘇生法（NCPRI）」に学生の参加を計画した。</li> </ul> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○統合実習の臨床実践能力の有効性を検証するために、平成24年度の卒業生を対象にアンケート調査を実施し、その成果を日本看護学校協議会学会で発表した。統合実習が卒業した看護師にとって「時間管理」「協働」「情報共有」「優先順位の決定」に役立っていることが明らかとなった。また、事前の演習や実習、成果をまとめ、雑誌への寄稿を行った。</li> <li>○改善したOSCEは「対象に必要な援助を考えることができ、臨床に役立つ」と学生から評価を得た。医療安全の演習は、「安全な方法を学ぶ機会になった」と答えている。</li> <li>○看護学科は平成27年度の新たな実習施設（介護老人保健施設）を開拓し、厚生労働省の認可を得た。また、新たな実習施設とした保育所からは、実習の受け入れの承諾を得ることができた。</li> <li>○助産学科は卒業に必要な正常分娩の介助を、学生一人当たり10例行うことができた。また、新生児蘇生法Aコースの資格を助産学科の学生全員が取得した。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○更なる教育内容の充実に向けて、各実習施設と綿密な連携を図り、効果的な実習が展開できるように課題を整理し、改善していくことが必要である。</li> <li>○異常妊産婦への対応や新生児の救急の学習をより充実するために、新生児蘇生「専門」コースインストラクターの資格を有する外部講師の活用をする。</li> </ul>	

7 収入証紙取扱額調べ

(平成27年 5月31日現在)

収入科目		件数	単価	証紙はりつけ額	備考
目	節				
衛生手数料	衛生手数料	172	2,600	447,200	平成27年度入試 助産学科 第1看護学科 第2看護学科 ※39名 81名 53名
	看護師等養成施設試験手数料				
	看護師等養成施設入学料	71	5,550	394,050	平成26年度入学 助産学科 第1看護学科 第2看護学科 16名 35名 20名
	看護師等養成施設卒業証明書 発行手数料	33	420	13,860	
	計(節)	276		855,110	
	目計	276		855,110	
	合計	276		855,110	

※助産学科受験者39名のうち1名は、現金による収納。

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
目	節							
衛生使用料	倉吉総合看護 専門学校授業料	1,900	17,860,000	17,860,000	0	0	看護師等養成施設 設置条例第4条	
	目計	1,900	17,860,000	17,860,000	0	0		
	合計	1,900	17,860,000	17,860,000	0	0		

(平成27年 5月31日現在) (単位:円)

(3) 手数料

(平成27年 5月31日現在) (単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
目	節							
衛生手数料	衛生手数料	1	2,600	2,600	0	0		
	看護師等養成施設試験手数料							
	看護養成施設卒業証明書発行手数料	1	420	420	0	0		
	目計	2	3,020	3,020	0	0		
	合計	2	3,020	3,020	0	0		

(4) 財産収入 該当なし

## (5) 諸収入

(平成27年 5月31日現在) (単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目節							
延滞金			1	159	159	0	0		
	目計		1	159	159	0	0		
雑入		本人負担分雇用保険料	13	18,399	18,399	0	0		
	目計		13	18,399	18,399	0	0		
	合計		14	18,558	18,558	0	0		

(6) 現金の取扱状況  
ア 現金取扱状況

(平成27年 5月31日現在) (単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
看護師等養成施設試験手数料	2,600	
看護師養成施設卒業証明発行手数料	420	
合計	3,020(2件)	

- 9 収入未済額調べ 該当なし
- 10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし
- 11 不納欠損額調べ 該当なし
- 12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金 (平成27年 5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	(支出年月日) 支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要領 等を含む)	備考
倉吉総合看護専 門学校費							
新規以外のもの					408,860		
目計					408,860		
合計					408,860		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成27年 5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補単の別	委託料の名称	委託契約の相手方	当初		契約		完了年月日	支出の状況		備考
				予定価格	変更	契約額(年月日)	契約期間(最終)		支出区分	支出金額	
(倉吉総合看護 専門学校費) 予定価格が 20万円未満											
目計										622,728	
合計										622,728	



13 工事請負費調べ  
該 当 な し

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産 該 当 な し  
ア 土地

イ 建物

(平成27年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考		
			目計面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日		面積 (㎡)	価額 (円)
行政財産	本館	倉吉市南昭和町15	974.50	101,144,000		H				H	974.50	101,144,000	
	大会議室・浴室・機械寄宿舍	"	314.19	34,692,000		H				H	314.19	34,692,000	
	物干場	"	1,520.93	167,558,000		H				H	1,520.93	167,558,000	
	フロンガス庫・機械室	"	54.00	748,000		H				H	54.00	748,000	
	自転車置場	"	14.40	360,000		H				H	14.40	360,000	
	体育館	"	13.50	510,000		H				H	13.50	510,000	
	渡り廊下	"	245.29	25,266,225		H				H	245.29	25,266,225	
	実習棟	"	18.14	-		H				H	18.14	-	
	渡り廊下	"	395.38	68,847,043							395.38	68,847,043	
				17.20							17.20		
計			3,567.53	399,125,268						3,567.53	399,125,268		
普通財産			0.00			H				H	0.00		
計						H				H			
合計			3,567.53	399,125,268							3,567.53	399,125,268	

ウ 山 林 該 当 な し 該 当 な し  
 エ 動 産 (船 舶、浮 標、浮 棧 橋、浮 ドック、航 空 機) 該 当 な し  
 オ 物 権 該 当 な し  
 カ 無 体 財 産 権 (特 許 権、著 作 権、商 標 権、実 用 新 案 権 等) 該 当 な し  
 キ 有 価 証 券 該 当 な し

(2) 金 券 類 の 受 払 状 況  
 ア 金 券 の 受 払 状 況

(平成27年 3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び 郵便はがき	65,950 円	259,654	235,949	89,655	
合 計	65,950	259,654	235,949	89,655	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成27年 3月31日現在)

前年度未使用枚数	本 年 度 中		差引未使用枚数
	購 入 枚 数	使 用 枚 数 及 び 金 額	
92 枚	450 枚	404 枚	枚
		333,070 円	138

- 15 財産の貸付け及び使用許可調べ  
 (1) 土地及び建物 該 当 な し  
 ア 土 地 該 当 な し  
 イ 建 物 該 当 な し  
 (2) 物品 該 当 な し  
 16 借受不動産明細調べ 該 当 な し  
 17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ  
 (1) 職員住宅 該 当 な し  
 (2) 職員駐車場 該 当 な し

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

(平成27年 3月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本 年 度		備 考
					車 検 年 月 日	修 理 費 等	
軽自動車 (貨物)	H14	鳥取41い9647	H24.1.13	37,151 km	H26.7.1	45,554 円	
合 計		台 1				45,554	

19 寄附物件の受納状況調べ

該 当 な し

20 備品の処分状況調べ

該 当 な し

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該 当 な し

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成26年11月 2日 平成27年 1月30日	・有 ・無	-	-